



補足説明書

HF/50MHz TRANSCEIVER
IC-7610
IC-7610M

本書では、リモート機能(CI-Vによるシリアル通信)
について説明しています。

Icom Inc.

もくじ

リモート機能	2
■ CI-Vによる外部コントロール	2
◇ パソコンとの接続	2
◇ CI-Vのデータ設定	2
◇ CI-Vの基本フォーマット	2
◇ コマンド一覧	3

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇パソコンとの接続

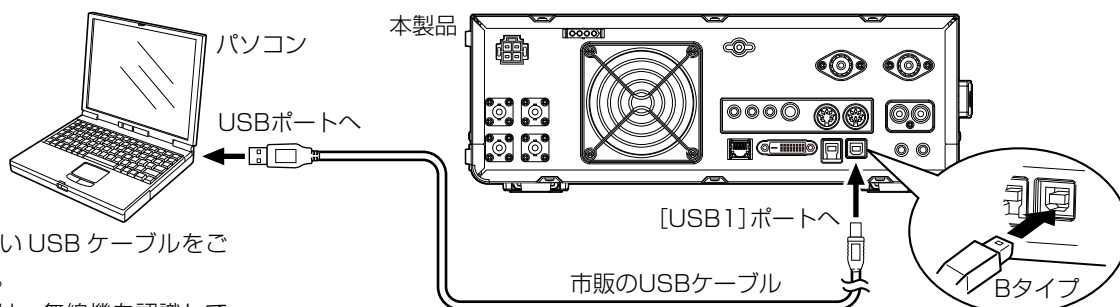
本製品にパソコンを接続することにより、CI-Vシステムを利用してパソコンから本製品の周波数や運用モード、VFO/メモリーモードなどを外部コントロールできます。

ICOM Communication Interface V(CI-V：シーアイファイブ)によるシリアル方式で通信します。

USBケーブルで、本製品とパソコンを接続します。(下図参照)

USBドライバーのダウンロード

USBケーブルでの接続に必要なUSBドライバー、およびインストールガイドは、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、サポート情報よりダウンロードしてください。



※できるだけ短いUSBケーブルをご使用ください。
長さによっては、無線機を認識しても使用できないことがあります。

◇CI-Vのデータ設定

CI-Vシステムを使用して本製品を外部コントロールするとき、または本製品の周波数や受信モードなどの情報を外部機器に送るとき、本製品のアドレス、ポーレート、トランシーブON/OFFのデータ設定が必要になります。

[MENU] >> **[SET > 外部端子 > CI-V]** (各設定項目の説明は、別紙取扱説明書をご覧ください。)

◇CI-Vの基本フォーマット

下図のCI-V基本フォーマット内の各コマンドやデータは、3ページ以降をご覧ください。

(1)パソコン→無線機(本製品)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
プリアンブル		受信 アドレス	送信 アドレス	コマンド	サブ コマンド	データエリア	ポスト アンブル
F	E	9	E	X	X	X	F
F	E	8	0	X	X	X	D

(2)無線機(本製品)→パソコン

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
プリアンブル		受信 アドレス	送信 アドレス	コマンド	サブ コマンド	データエリア	ポスト アンブル
F	E	E	9	X	X	X	F
F	E	0	8	X	X	X	D

- ① **プリアンブル** : データのはじめに挿入する同期用のコードで、16進数の「FE」を2回送出します。
- ② **受信アドレス**/③ **送信アドレス**
: 本製品のアドレスを「98(16進数)」、パソコンのアドレスを「E0(16進数)」としたときの例を示しています。
- ④ **コマンド** : コントロールできる機能を16進数2桁でコマンドとしています。
※無線機からパソコンへの応答確認メッセージは、OKの場合は16進の「FB」を送出し、NGの場合は「FA」を送出します。
- ⑤ **サブコマンド** : コマンド補足命令として16進数2桁を使用します。
- ⑥ **データエリア** : 周波数データなどをセットするエリアで、データより可変長とします。
(詳細は、P.12～P.18参照)
- ⑦ **ポストアンブル**: メッセージの終わりを示すコードで、16進数の「FD」とします。

リモート機能

■ CI-Vについて(つづき)

ご注意

CI-Vコマンドで設定を変更後、無線機本体でツマミ(音量設定など、印があるボリューム類)を直接操作した場合、その時点ですべてのツマミの設定がツマミ位置の調整値に戻ります。

◇コマンド一覧

コマンド	サブ	データ	動作
00		P.12参照	周波数データの設定(トランシーブ)
01		P.12参照	運用モードの設定(トランシーブ)
02		P.13参照	バンドエッジ周波数を読み込む
03		P.12参照	表示周波数を読み込む
04		P.12参照	表示モードを読み込む
05		P.12参照	周波数データの設定
06		P.12参照	運用モードの設定
07	②		VFO状態にする
	B0		MAIN/バンドとSUB/バンドを入れ替える
	B1		MAIN/バンドとSUB/バンドを同じにする
	C0		デュアルワッチ機能をOFFにする
	C1		デュアルワッチ機能をONにする
	C2*	00/01	デュアルワッチの設定 00=OFF、01=ON
	D0		MAIN/バンドにする
	D1		SUB/バンドにする
	D2*	00	MAIN/バンドの選択
		01	SUB/バンドの選択
08			メモリー状態にする
		00 00~ 00 99	メモリーチャンネルの設定 ※00 01(1ch)~00 99(99ch)
		01 00	プログラムスキャンエッジの上限周波数 (P1)の設定
		01 01	プログラムスキャンエッジの下限周波数 (P2)の設定
09			メモリーへの書き込み
0A			メモリーからVFOに転送
0B			メモリーの消去
0E	00		スキャン動作を解除する
	01		プログラム/メモリスキャンの開始
	02		プログラムスキャンの開始
	03		ΔFスキャンの開始
	12		ファイン・プログラムスキャンの開始
	13		ファイン・ΔFスキャンの開始
	22		メモリスキャンの開始
	23		セレクトメモリスキャンの開始
	Ax (x=1~7)		ΔFスキャン用スパンの設定 x=1(±5kHz)、x=2(±10kHz)、 x=3(±20kHz)、x=4(±50kHz)、x=5 (±100kHz)、x=6(±500kHz)、x=7 (±1MHz)
	B0		セレクト指定をOFFに設定
	B1		セレクト指定をONに設定 ※電源ON後に、CI-Vで以前に設定したセ レクト番号 電源ON後に、CI-Vで一度もセレクト番 号を設定していない場合は、1を設定
		01~03	メモリーチャンネルのセレクト番号に指定 ※01=SEL1、02=SEL2、03=SEL3
	B2	00~03	セレクトメモリスキャンのセレクト番号に 指定 ※00=ALL、01=SEL1、02=SEL2、 03=SEL3
	D0		スキャンレジュームOFFに設定
	D3		スキャンレジュームON(Close&Delay)に 設定
0F		00	スプリットOFFを読み込む
		01	スプリットONを読み込む
	00		スプリットOFFを設定
	01		スプリットONを設定
10*		00~08	TS(チューニングステップ)の設定 ※00=OFF(10Hz、または1Hz)、 01=100Hz、02=1kHz、03=5kHz、 04=9kHz、05=10kHz、06=12.5kHz、 07=20kHz、08=25kHz

コマンド	サブ	データ	動作
11*②		00	ATT(アッテネーター)OFFの設定
		03	ATT(アッテネーター)3dBの設定
		06	ATT(アッテネーター)6dBの設定
		09	ATT(アッテネーター)9dBの設定
		12	ATT(アッテネーター)12dBの設定
		15	ATT(アッテネーター)15dBの設定
		18	ATT(アッテネーター)18dBの設定
		21	ATT(アッテネーター)21dBの設定
		24	ATT(アッテネーター)24dBの設定
		27	ATT(アッテネーター)27dBの設定
		30	ATT(アッテネーター)30dBの設定
		33	ATT(アッテネーター)33dBの設定
		36	ATT(アッテネーター)36dBの設定
		39	ATT(アッテネーター)39dBの設定
		42	ATT(アッテネーター)42dBの設定
		45	ATT(アッテネーター)45dBの設定
12*② (注1)	00	00/01	[ANT 1]コネクターを選択 ※00=RX ANT OFF、01=RX ANT ON
	01	00/01	[ANT 2]コネクターを選択 ※00=RX ANT OFF、01=RX ANT ON
13	00		スピーチ機能の動作(All Data) ※(Sレベル)+周波数+運用モードの発声
	01		スピーチ機能(周波数) ※(Sレベル)+周波数発声
	02		ピーチ機能の動作(運用モード) ※周波数スピーチ中は、そのあとに発声
14*	01 ②	00 00~ 02 55	AFゲイン(音量)の設定 ※00 00=最小~02 55=最大
	02 ②	00 00~ 02 55	RFゲイン(受信感度)の設定 ※00 00=最小~02 55=最大
	03 ②	00 00~ 02 55	SQL(スケルチ)レベルの設定 ※00 00=最小~02 55=最大
	05 ②	00 00~ 02 55	APF(オーディオピークフィルタ)のピー ク周波数を設定(10Hz刻み) ※00 00=CW ピッチ周波数-550Hz~ 01 28=CW ピッチ周波数~ 02 55=CW ピッチ周波数+550Hz
	06 ②	00 00~ 02 55	NR(ノイズリダクション)レベルの設定 ※00 00=0%、02 55=100%
	07 ②	00 00~ 02 55	デジタルTWIN PBT(内側:PBT1)の設定 ※00 00=上側を狭くする、0128=セン ター、02 55=下側を狭くする
	08 ②	00 00~ 02 55	デジタルTWIN PBT(外側:PBT2)の設定 ※00 00=上側を狭くする、0128=セン ター、02 55=下側を狭くする
	09	00 00~ 02 55	CWピッチ周波数の設定 ※00 00=300Hz、0128=600Hz、 02 55=900Hz(5Hz刻み)
	0A	00 00~ 02 55	RF POWER(送信出力)の設定 ※00 00=最小~02 55=最大
	0B	00 00~ 02 55	MIC GAIN(マイクゲイン)の設定 ※00 00=最小~02 55=最大
	0C	00 00~ 02 55	キーイングスピードの設定 ※00 00=6wpm~02 55=48wpm
	0D ②	00 00~ 02 55	NOTCH(ノッチ)フィルタの設定 ※00 00=下側に移行、0128=セン ター、02 55=上側に移行
	0E	00 00~ 02 55	COMP(コンプレッション)レベルの設定 ※00 00=0~02 55=10
	0F	00 00~ 02 55	BK-IN(ブレークイン)デレイタイムの設定 ※00 00=2.0d~02 55=13.0d
	12 ②	00 00~ 02 55	NB(ノイズプランカー)レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
	13 ②	00 00~ 02 55	DIG-SEL(デジタル)中心周波数のシフト量の 設定 ※00 00=最小~02 55=最大

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
14*	14	00 00~ 02 55	DRIVE GAIN(ドライブゲイン)の設定 ※00 00=0%~02 55=100%
	15	00 00~ 02 55	送信音質モニター(MONI)中の音量を設定 ※00 00=0%(最小)~ 02 55=100%(最大)
	16	00 00~ 02 55	VOX GAIN(ボックスゲイン)の設定 ※00 00=0%~02 55=100%
	17	00 00~ 02 55	ANTI VOX(アンチボックス)ゲインの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
	19	00 00~ 02 55	LCDバックライトの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
15	01 ㊟	00/01	ノイズスケルチ、またはSメータースケルチの状態を読み込む 00=Close、01=Open
	02 ㊟	00 00~ 02 55	Sメーターレベルを読み込む ※00 00=S0、01 20=S9、 02 41=S9+60dB
	05 ㊟	00/01	各種スケルチ機能(トーンスケルチなど)を含めたスケルチの状態を読み込む 00=Close、01=Open
	07 ㊟	00/01	OVF(信号強入力)の状態を読み込む ※00=OVF消灯、01=OVF点灯
	11	00 00~ 02 55	Poメーターレベルを読み込む ※00 00=0%~01 43=50%~ 02 12=100%
	12	00 00~ 02 55	SWRメーターレベルを読み込む ※00 00=SWR1.0、00 48=SWR1.5、 00 80=SWR2.0、01 20=SWR3.0
	13	00 00~ 02 55	ALCメーターレベルを読み込む ※00 00=最小~01 20=最大
	14	00 00~ 02 55	COMPメーターレベルを読み込む ※00 00=0dB、01 30=15dB、 02 41=30dB
	15	00 00~ 02 55	Vdメーターレベルを読み込む ※00 00=0V、01 51=10V、02 11=16V
	16	00 00~ 02 55	Idメーターレベルを読み込む ※00 00=0A、00 77=10A、 01 65=20A、02 41=30A
	16*	02 ㊟	00
01			P.AMP 1(プリアンプ1)ONの設定
02			P.AMP 2(プリアンプ2)ONの設定
12 ㊟		01~03	AGC(自動利得制御)の設定 01=FAST、02=MID、03=SLOW
22 ㊟		00/01	NB(ノイズブランカー)の設定 00=OFF、01=ON
32 ㊟		00	APF(オーディオピークフィルター)OFFの設定
		01	APF(オーディオピークフィルター)の帯域幅WIDEの設定 ※APFタイプがSHARP時は、320Hz
		02	APF(オーディオピークフィルター)の帯域幅MIDの設定 ※APFタイプがSHARP時は、160Hz
		03	APF(オーディオピークフィルター)の帯域幅NARの設定 ※APFタイプがSHARP時は、80Hz
40 ㊟		00/01	NR(ノイズリダクション)の設定 00=OFF、01=ON
41 ㊟		00/01	オートノッチ(AN)の設定 00=OFF、01=ON
42 ㊟		00/01	TONE(トーン)の設定 00=OFF、01=ON
43 ㊟		00/01	T-SQL(トーンスケルチ)の設定 00=OFF、01=ON
44		00/01	COMP(スピーチコンプレッサー)の設定 00=OFF、01=ON
45		00/01	送信音質モニター(MONI)の設定 00=OFF、01=ON
46	00/01	VOX(ボックス)の設定 00=OFF、01=ON	

コマンド	サブ	データ	動作		
16*	47	00	BK-IN(ブレークイン)OFFの設定		
		01	SEMI BK-IN(セミブレークイン)ONの設定		
		02	FULL BK-IN(フルブレークイン)ONの設定		
	48 ㊟	00/01	MN(マニュアルノッチ)設定 00=OFF、01=ON		
	4E ㊟	00/01	DIGI-SEL(デジセル)の設定 00=OFF、01=ON		
	4F ㊟	00/01	TPF(ツインピークフィルター)設定 00=OFF、01=ON		
			※RTTYトーン/RTTYシフトの設定が 2125Hz/170HzのときだけONにできる		
	50	00/01	ダイヤルロックの設定 00=OFF、01=ON		
	53 ㊟	00/01	ANT RX-I/O(外部機器を接続)の設定 00=OFF、01=ON		
	56 ㊟	00/01	デジタルIFフィルターのシェーパタイプの設定 00=SHARP、01=SOFT		
	57 ㊟	00~02	MN(マニュアルノッチ)帯域幅の設定 00=WIDE、01=MID、02=NAR		
			SSB TBW(送信帯域幅)の設定 00=WIDE、01=MID、02=NAR ※COMPのON/OFFに応じて、WIDE(コ マンド:1A 05 00 15)、MID(コマンド: 1A 05 00 16)、NAR(コマンド:1A 05 00 17)の値を適用		
	58	00~02	SSB TBW(送信帯域幅)の設定 00=WIDE、01=MID、02=NAR ※COMPのON/OFFに応じて、WIDE(コ マンド:1A 05 00 15)、MID(コマンド: 1A 05 00 16)、NAR(コマンド:1A 05 00 17)の値を適用		
	5E	00/01	トラッキング機能の設定 00=OFF、01=ON		
	65 ㊟	00/01	IP+(IPプラス)機能の設定 ※00=OFF、01=ON		
	66	00/01	TX Inhibit(送信禁止)の設定 ※00=OFF、01=ON		
	67	00/01	DPD機能の設定 ※00=OFF、01=ON		
17 (注3)		P.12参照	CWメッセージを送出する		
18	00		本体電源をOFFする		
	01(注4)		本体電源をONする		
19	00		本体のIDコードを読み込む		
1A* (注5)	00	P.13参照	メモリーチャンネルの内容設定		
	01	P.13参照	バンドスタッキングレジスターの内容設定		
	02(注6)	P.15参照	KEYER(キーヤー)メモリーの内容設定		
	03 ㊟	P.14参照	選択している各デジタルIFフィルター (FIL1/FIL2/FIL3)の通過帯域幅の設定		
	04 ㊟	P.14参照	選択している各AGC(自動利得制御: FAST/MID/SLOW)の特定数の設定		
	05	00 01	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — SSB 受信HPF/LPFの設定	
				トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — SSB 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 02	00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — SSB 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5
					トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — AM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5
		00 03	00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — AM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5
トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5					
00 04		P.14参照	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — AM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
				トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
00 05		00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — AM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5	
				トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
00 06	00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — AM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5		
			トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5		
00 07	P.14参照	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5		
			トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5		
00 08	00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5		
			トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5		
00 09	00~10	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5		
			トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — FM 受信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5		
00 10	P.14参照	P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — CW 受信HPF/LPFの設定		

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作	
1A* (注5)	05	00 11	P.14参照 トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — RTTY 受信HPF/LPFの設定	
		00 12	P.14参照 トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — PSK 受信HPF/LPFの設定	
		00 13	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 受信 — SSB 送信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 14	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — SSB 送信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 15	P.14参照 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — SSB 送信帯域幅(WIDE)の設定	
		00 16	P.14参照 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — SSB 送信帯域幅(MID)の設定	
		00 17	P.14参照 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — SSB 送信帯域幅(NAR)の設定	
		00 18	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — AM 送信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 19	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — AM 送信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 20	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — FM 送信音質(低音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 21	00~10 トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — FM 送信音質(高音)の設定 ※00=-5~10=+5	
		00 22	00 00~ 02 55	機能設定 — ビープレベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 23	00/01	機能設定 — ビープレベルリミットの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 24	00/01	機能設定 — 操作音の設定 ※00=OFF、01=ON
				機能設定 — バンドエッジビープの設定 ※00=OFF、01=ON(デフォルト)
				機能設定 — バンドエッジビープの設定 ※02=ON(ユーザー設定)
		00 25	00/01	機能設定 — バンドエッジビープの設定 ※00=OFF、01=ON(デフォルト)
				機能設定 — バンドエッジビープの設定 ※02=ON(ユーザー設定)
				機能設定 — バンドエッジビープの設定 ※03=ON(ユーザー設定)&送信制限
		00 26	00 50~ 02 00	機能設定 — ビープ周波数(メイン)の設定 ※00 50=500Hz~02 00=2000Hz
		00 27	00 50~ 02 00	機能設定 — ビープ周波数(サブ)の設定 ※00 50=500Hz~02 00=2000Hz
		00 28	00~02	機能設定 — RF/SQLボリュームタイプの設定 ※00=オート、01=SQL、02=RF+SQL
		00 29	00~05	機能設定 — 送信ディレイ(HF)の設定 ※00=OFF、01=10ms、02=15ms、03=20ms、04=25ms、05=30ms
		00 30	00~05	機能設定 — 送信ディレイ(50M)の設定 ※00=OFF、01=10ms、02=15ms、03=20ms、04=25ms、05=30ms
		00 31	00~05	機能設定 — タイムアウトタイマー(CI-V)の設定 ※00=OFF、01=3分、02=5分、03=10分、04=20分、05=30分
		00 32	00/01	機能設定 — クイックデュアルワッチの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 33	00/01	機能設定 — SPLIT — クイックスプリットの設定 ※00=OFF、01=ON ※[SPLIT]キーの長押し動作のON/OFF
		00 34	00/01	機能設定 — SPLIT — クイックスプリットテンキー表示の設定 ※00=OFF、01=ON
		00 35	P.15参照	機能設定 — SPLIT — FMスプリットオフセット(HF)の設定
		00 36	P.15参照	機能設定 — SPLIT — FMスプリットオフセット(50M)の設定

コマンド	サブ	データ	動作	
1A* (注5)	05	00 37	00/01 機能設定 — SPLIT — スプリットロックの設定 ※00=OFF、01=ON	
		00 38	00/01 機能設定 — チューナー — PTTチューンの設定 ※00=OFF、01=ON	
		00 39	00/01 機能設定 — トランスバータの設定 ※00=オート、01=ON	
		00 40	P.15参照 機能設定 — トランスバータオフセットの設定	
		00 41	00~02 機能設定 — RTTYトーンの設定 ※00=1275Hz、01=1615Hz、02=2125Hz	
		00 42	00~02 機能設定 — RTTYシフトの設定 ※00=170Hz、01=200Hz、02=425Hz	
		00 43	00/01 機能設定 — RTTYキー極性の設定 ※00=ノーマル、01=リバース	
		00 44	00~02 機能設定 — PSKトーンの設定 ※00=1000Hz、01=1500Hz、02=2000Hz	
		00 45	00/01 機能設定 — スピーチ — スピーチ言語の設定 ※00=英語、01=日本語	
		00 46	00/01 機能設定 — スピーチ — スピーチ速度の設定 ※00=遅い、01=速い	
		00 47	00/01 機能設定 — スピーチ — Sレベルスピーチの設定 ※00=OFF、01=ON	
		00 48	00/01 機能設定 — スピーチ — モードスピーチの設定 ※00=OFF、01=ON	
		00 49	00 00~ 02 55	機能設定 — スピーチ — スピーチレベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 50	00/01	機能設定 — [SPEECH/LOCK]キーの設定 ※00=SPEECH/LOCK、01=LOCK/SPEECH
		00 51	00/01	機能設定 — ロック機能の設定 ※00=メインダイヤル、01=パネル
		00 52	00/01	機能設定 — メモパッドCH(チャンネル)数の設定 ※00=5、01=10
		00 53	00~02	機能設定 — メインダイヤルのオートTS(チューニングステップ)の設定 ※00=OFF、01=Low、02=High
		00 54	00/01	機能設定 — メインダイヤル選択(USBダイヤル サブ固定時)の設定 ※00=メイン固定、01=メイン/サブ
		00 55	00/01	機能設定 — メイン/サブトラッキング[MAIN/SUB]キーの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 56	00/01	機能設定 — MIC Up/Downスピードの設定 ※00=遅い、01=速い
		00 57	00/01	機能設定 — クイックRIT/ATXクリアの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 58	00~02	機能設定 — [NOTCH]キー(SSB)の設定 ※00=オート、01=マニュアル、02=オート/マニュアル
		00 59	00~02	機能設定 — [NOTCH]キー(AM)の設定 ※00=オート、01=マニュアル、02=オート/マニュアル
		00 60	00/01	機能設定 — フィルター画面 メイン/サブ選択 ※00=固定、01=オート(オート(FILTER,PBT操作))
		00 61	00/01	機能設定 — 周波数シフト(SSB/CW)の設定 ※00=OFF、01=ON
		00 62	00/01	機能設定 — BFO周波数(CW)の設定 ※00=LSB、01=USB

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	00 63 00/01	機能設定 — スクリーンキーボード入力方式 (英数)の設定 ※00=テンキー、01=フルキーボード
		00 64 00~02	機能設定 — スクリーンフルキーボード配列の設定 ※00=日本、アメリカ、イギリス、01=ドイツ、02=フランス
		00 65 00/01	機能設定 — スクリーンキャプチャ [POWER]キーの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 66 00/01	機能設定 — スクリーンキャプチャ [Print Screen]キーの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 67 00/01	機能設定 — スクリーンキャプチャ 保存先の設定 ※00=SDカード、01=USBメモリー
		00 68 00/01	機能設定 — スクリーンキャプチャ 保存形式の設定 ※00=PNG、01=BMP
		00 69 00/01	機能設定 — キャリブレーションマーカの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 70 00 00~05 11	機能設定 — 基準周波数調整 ※00 00=0%~05 11=100%
		00 71 00~30	外部端子 — ヘッドホン — 出力レベルの設定 ※00=-15dB~30=+15dB
		00 72 00/01	外部端子 — ヘッドホン — L/Rミックスの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 73 00/01	外部端子 — ACC AF/IF出力 — AF/SQL出力選択の設定 ※00=メイン、01=サブ
		00 74 00/01	外部端子 — ACC AF/IF出力 — 出力選択の設定 ※00=AF、01=IF
		00 75 00/01	外部端子 — ACC AF/IF出力 — AF/IF XFC中出力選択(SPLIT ON時)の設定 ※00=メイン、01=サブ
		00 76 00 00~02 55	外部端子 — ACC AF/IF出力 — AF出力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 77 00/01	外部端子 — ACC AF/IF出力 — AFスケルチの設定 ※00=OFF(オープン)、01=ON
		00 78 00/01	外部端子 — ACC AF/IF出力 — AF ビープ/スピーチ...出力の設定 ※00=OFF、01=ON
		00 79 00 00~02 55	外部端子 — ACC AF/IF出力 — IF出力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 80 00/01	外部端子 — USB AF/IF出力 — 出力選択の設定 ※00=AF、01=IF
		00 81 00/01	外部端子 — USB AF/IF出力 — AF/IF XFC中出力選択(SPLIT ON時)の設定 ※00=メイン、01=サブ
		00 82 00 00~02 55	外部端子 — USB AF/IF出力 — AF出力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
00 83 00/01	外部端子 — USB AF/IF出力 — AFスケルチの設定 ※00=OFF(オープン)、01=ON		
00 84 00/01	外部端子 — USB AF/IF出力 — AF ビープ/スピーチ...出力の設定 ※00=OFF、01=ON		
00 85 00 00~02 55	外部端子 — USB AF/IF出力 — IF出力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%		

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	00 86 00/01	外部端子 — LAN AF/IF出力 — 出力選択の設定 ※00=AF、01=IF
		00 87 00/01	外部端子 — LAN AF/IF出力 — AFスケルチの設定 ※00=OFF(オープン)、01=ON
		00 88 00 00~02 55	外部端子 — 変調入力 — ACC変調入力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 89 00 00~02 55	外部端子 — 変調入力 — USB変調入力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 90 00 00~02 55	外部端子 — 変調入力 — LAN変調入力レベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		00 91 00~05	外部端子 — 変調入力 — 変調入力(DATA OFF)の設定 ※00=MIC、01=ACC、02=MIC,ACC、03=USB、04=MIC,USB、05=LAN
		00 92 00~05	外部端子 — 変調入力 — 変調入力(DATA 1)の設定 ※00=MIC、01=ACC、02=MIC,ACC、03=USB、04=MIC,USB、05=LAN
		00 93 00~05	外部端子 — 変調入力 — 変調入力(DATA 2)の設定 ※00=MIC、01=ACC、02=MIC,ACC、03=USB、04=MIC,USB、05=LAN
		00 94 00~05	外部端子 — 変調入力 — 変調入力(DATA 3)の設定 ※00=MIC、01=ACC、02=MIC,ACC、03=USB、04=MIC,USB、05=LAN
		00 95 00~04	外部端子 — USB SEND/キーイング — USB SENDの設定 ※00=OFF、01=USB1 (A) DTR、02=USB1 (A) RTS、03=USB1 (B) DTR、04=USB1 (B) RTS ※USB キーイング(CW)、およびUSB キーイング(RTTY)と重複する設定はできません。
		00 96 00~04	外部端子 — USB SEND/キーイング — USB キーイング(CW)の設定 ※00=OFF、01=USB1 (A) DTR、02=USB1 (A) RTS、03=USB1 (B) DTR、04=USB1 (B) RTS ※USB SENDと重複する設定はできません。
		00 97 00~04	外部端子 — USB SEND/キーイング — USB キーイング(RTTY)の設定 ※00=OFF、01=USB1 (A) DTR、02=USB1 (A) RTS、03=USB1 (B) DTR、04=USB1 (B) RTS ※USB SENDと重複する設定はできません。
		00 98 00/01	外部端子 — 外部キーパッド — VOICEの設定 ※00=OFF、01=ON
		00 99 00/01	外部端子 — 外部キーパッド — KEYSERの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 00 00/01	外部端子 — 外部キーパッド — RTTYの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 01 00/01	外部端子 — 外部キーパッド — PSKの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 02 00/01	外部端子 — キーボード/マウス — キーボード[F1]-[F8] (VOICE)の設定 ※00=OFF、01=ON

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	01 03 00/01	外部端子 — キーボード/マウス — キーボード[F1]-[F8] (KEYER)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 04 00~10	外部端子 — キーボード/マウス — キーボード種類の設定 ※00=US、01=日本語、02=英国、03=フランス語、04=フランス語(カナダ)、05=ドイツ語、06=ポルトガル語、07=ポルトガル語(ブラジル)、08=スペイン語、09=スペイン語(ラテンアメリカ)、10=イタリア語
		01 05 00 10~01 00	外部端子 — キーボード/マウス — キーボードリポート遅延の設定 ※00 10=100ms~ 01 00=1000ms(50ms刻み)
		01 06 00~31	外部端子 — キーボード/マウス — キーボードリポート速度の設定 ※00=2.0cps~31=30.0cps
		01 07 00~02	外部端子 — キーボード/マウス — マウスポインター速度の設定 ※00=遅い、01=標準、02=速い
		01 08 00/01	外部端子 — キーボード/マウス — マウスポインター加速の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 09 00/01	外部端子 — USBダイヤル — USBダイヤル選択の設定 ※00=サブ固定、01=メイン/サブ
		01 10 00~02	外部端子 — USBダイヤル — USBダイヤルオートTSの設定 ※00=OFF、01=Low、02=High
		01 11 00/01	外部端子 — USBダイヤル — USBダイヤル[TRANSMIT]キーの設定 ※00=押すごとに切り替え、01=押しているあいだ送信
		01 12 00/01	外部端子 — CI-V — CI-Vトランシーブの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 13 00 00~02 23	外部端子 — CI-V — CI-V USB/LAN→REMOTE トランシーブアドレスの設定 ※00 00=00h~02 23=DFh(16進数)
		01 14 00/01	外部端子 — CI-V — CI-V出力(アンテナ用)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 15 00/01	外部端子 — CI-V — CI-V USBポートの設定を読み込む ※00=[REMOTE]と接続、01=[REMOTE]から切断
		01 16 00/01	外部端子 — CI-V — CI-V USBエコーバックの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 17 00~07	外部端子 — 外部メーター — 外部メーター出力(メイン)の設定 ※00=オート、01=S(メイン)、02=Po、03=SWR、04=ALC、05=COMP、06=Vd、07=ld
		01 18 00~07	外部端子 — 外部メーター — 外部メーター出力(サブ)の設定 ※00=オート、01=S(サブ)、02=Po、03=SWR、04=ALC、05=COMP、06=Vd、07=ld
		01 19 00 00~02 55	外部端子 — 外部メーター — 外部メーター出力レベル(メイン)の設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		01 20 00 00~02 55	外部端子 — 外部メーター — 外部メーター出力レベル(サブ)の設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		01 21 00~03	外部端子 — デコード出力ボーレートの設定 ※00=4800bps、01=9600bps、02=19200bps、03=38400bps

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	01 22 00/01	外部端子 — SENDリレータイプの設定 ※00=リードリレー、01=MOS-FET
		01 23 00~02	外部端子 — ACCバンド電圧出力 ※00=メイン、01=サブ、02=送信
		01 24 00/01	外部端子 — マイク入力DCバイアスの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 25 00/01	外部端子 — 基準周波数入力の設定 ※00=IN、01=OFF
		01 26 00/01	ネットワーク — DHCP (再起動後に有効)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 27 00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54	ネットワーク — IPアドレス (再起動後に有効)の設定 ※00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54=255.255.255.254 ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのとき有効
		01 28 00 00 00 00 01~02 55 02 55 02 54	ネットワーク — DHCP (再起動後に有効)の設定で取得されたIPアドレスを読み込む ※00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54=255.255.255.254 ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのときは、IPアドレス(再起動後に有効)の設定内容を返す
		01 29 01~30	ネットワーク — サブネットマスク (再起動後に有効)の設定 ※01=128.0.0.0(1bit)~30=255.255.255.252(30bit) ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのとき有効
		01 30 00 00 00 00 01~02 55 02 55 02 54, FF	ネットワーク — デフォルトゲートウェイ(再起動後に有効)の設定 ※00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54=255.255.255.254、FF=ブランク ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのとき有効
		01 31 00 00 00 00 01~02 55 02 55 02 54, FF	ネットワーク — プライマリDNSサーバー (再起動後に有効)の設定 ※00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54=255.255.255.254、FF=ブランク ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのとき有効
		01 32 00 00 00 00 01~02 55 02 55 02 54, FF	ネットワーク — セカンダリDNSサーバー (再起動後に有効)の設定 ※00 00 00 00 00 00 00 01=0.0.0.1~02 55 02 55 02 54=255.255.255.254、FF=ブランク ※DHCP(再起動後に有効)の設定がOFFのとき有効
		01 33 P.14参照	ネットワーク — ネットワークネームの設定 ※最大15文字
		01 34 00/01	ネットワーク — ネットワーク制御 (再起動後に有効)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 35 00/01	ネットワーク — パワーオフ設定 (リモート制御用)の設定 ※00=シャットダウンのみ、01=スタンバイ/シャットダウン
		01 36 00 00 01~06 55 35	ネットワーク — コントロールポート (UDP) (再起動後に有効)の設定 ※00 00 01=1~06 55 35=65535
		01 37 00 00 01~06 55 35	ネットワーク — シリアルポート (UDP) (再起動後に有効)の設定 ※00 00 01=1~06 55 35=65535

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	01 38 00 00 01 ~ 06 55 35	ネットワーク オーディオポート (UDP)(再起動後に有効)の設定 ※00 00 01=1~06 55 35=65535
		01 39 00/01	ネットワーク インターネットアクセスライン(再起動後に有効)の設定 ※00=FTTH、01=ADSL/CATV
		01 40 P.14参照	ネットワーク ネットワーク無線機ネームの設定 ※最大16文字
		01 41 00 00 ~ 02 55	ディスプレイ設定 — LCDバックライトの設定 ※00 00=0%(暗)~02 55=100%(明)
		01 42 00 00 ~ 02 55	ディスプレイ設定 — LED輝度の設定 ※00 00=0%(暗)~02 55=100%(明)
		01 43 00/01	ディスプレイ設定 — 表示タイプの設定 ※00=A、01=B
		01 44 00/01	ディスプレイ設定 — 周波数フォントの設定 ※00=標準、01=ラウンド
		01 45 00~02	ディスプレイ設定 — メーターレスポンス(標準、エッジワイス)の設定 ※00=遅い、01=標準、02=速い
		01 46 00~02	ディスプレイ設定 — メータータイプ(通常表示)の設定 ※00=標準、01=エッジワイス、02=パー
		01 47 00/01	ディスプレイ設定 — メータータイプ(Expand)の設定 ※00=エッジワイス、01=パー
		01 48 00/01	ディスプレイ設定 — メーターピークホルルド(パー)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 49 00/01	ディスプレイ設定 — メモリーネームの設定 ※00=OFF(非表示)、01=ON(表示)
		01 50 00/01	ディスプレイ設定 — APF幅ポップアップ(APF OFF→ON)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 51 00~03	ディスプレイ設定 — スクリーンセーバーの設定 ※00=OFF、01=15分、02=30分、03=60分
		01 52 00/01	ディスプレイ設定 — 外部ディスプレイの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 53 00/01	ディスプレイ設定 — 外部ディスプレイ解像度の設定 ※00=800×480、01=800×600
		01 54 00/01	ディスプレイ設定 — オープニングメッセージの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 55 P.14参照	ディスプレイ設定 — コールサインの設定 ※最大10文字
		01 56 00/01	ディスプレイ設定 — パワーオンチェックの設定 ※00=OFF、01=ON
		01 57 00/01	ディスプレイ設定 — 表示言語の設定 ※00=英語、01=日本語
		01 58 20 00 01 01 ~ 20 99 12 31	時間設定 — 日時設定 — 日付の設定 ※20 00 01 01=2000年1月1日~20 99 12 31=2099年12月31日
		01 59 00 00 ~ 23 59	時間設定 — 日時設定 — 時間の設定 ※00 00=00時00分~23 59=23時59分
		01 60 00/01	時間設定 — 日時設定 — NTP機能の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 61 P.14参照	時間設定 — 日時設定 — NTPサーバーアドレスの設定 ※最大64文字
		01 62 P.15参照	時間設定 — UTCオフセットの設定
		01 63 00/01	時間設定 — CLOCK2表示の設定 ※00=OFF、01=ON

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	01 64 P.15参照	時間設定 — CLOCK2 UTCオフセットの設定
		01 65 P.14参照	時間設定 — CLOCK2ネームの設定 ※最大3文字
		01 66 00/01	スコープ設定 — 送信中スコープ表示(センターモード)の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 67 00~02	スコープ設定 — マックスホルルドの設定 ※00=OFF、01=10秒ホルルド、02=ON
		01 68 00~02	スコープ設定 — センターモード表示の設定 ※00=フィルターセンター、01=キャリアポイントセンター、02=キャリアポイントセンター(周波数表示)
		01 69 00/01	スコープ設定 — マーカー位置(FIXモード/スクロールモード)の設定 ※00=フィルターセンター、01=キャリアポイント
		01 70 00~03	スコープ設定 — アベレーシングの設定 ※00=OFF、01=2、02=3、03=4
		01 71 00/01	スコープ設定 — 波形表示タイプの設定 ※00=波形塗りつぶし、01=波形塗りつぶし+輪郭線
		01 72 P.15参照	スコープ設定 — 波形色の設定
		01 73 P.15参照	スコープ設定 — 波形色(輪郭線)の設定
		01 74 P.15参照	スコープ設定 — 波形色(マックスホルルド)の設定
		01 75 00/01	スコープ設定 — ウォーターフォール表示の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 76 00~02	スコープ設定 — ウォーターフォール降下スピードの設定 ※00=遅い、01=標準、02=速い
		01 77 00~02	スコープ設定 — ウォーターフォールサイズ(Expand)の設定 ※00=小さい、01=標準、02=大きい
		01 78 00~09	スコープ設定 — ウォーターフォールピークカラーレベルの設定 ※00=Grid1~09=Grid10
		01 79 00/01	スコープ設定 — ウォーターフォールマーカー自動非表示の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 80 00/01	スコープ設定 — デュアルスコープ表示の設定 ※00=上下並び、01=左右並び
		01 81 00/01	スコープ設定 — デュアルスコープ自動選択の設定 ※00=OFF、01=ON
		01 82 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 0.03 - 1.60の設定
		01 83 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 0.03 - 1.60の設定
		01 84 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 0.03 - 1.60の設定
		01 85 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 1.60 - 2.00の設定
		01 86 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 1.60 - 2.00の設定
		01 87 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 1.60 - 2.00の設定
		01 88 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 2.00 - 6.00の設定
		01 89 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 2.00 - 6.00の設定
		01 90 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 2.00 - 6.00の設定
		01 91 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 6.00 - 8.00の設定

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	01 92	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 6.00 - 8.00の設定
		01 93	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 6.00 - 8.00の設定
		01 94	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 8.00 - 11.00の設定
		01 95	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 8.00 - 11.00の設定
		01 96	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 8.00 - 11.00の設定
		01 97	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 11.00 - 15.00の設定
		01 98	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 11.00 - 15.00の設定
		01 99	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 11.00 - 15.00の設定
		02 00	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 15.00 - 20.00の設定
		02 01	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 15.00 - 20.00の設定
		02 02	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 15.00 - 20.00の設定
		02 03	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 20.00 - 22.00の設定
		02 04	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 20.00 - 22.00の設定
		02 05	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 20.00 - 22.00の設定
		02 06	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 22.00 - 26.00の設定
		02 07	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 22.00 - 26.00の設定
		02 08	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 22.00 - 26.00の設定
		02 09	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 26.00 - 30.00の設定
		02 10	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 26.00 - 30.00の設定
		02 11	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 26.00 - 30.00の設定
		02 12	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 30.00 - 45.00の設定
		02 13	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 30.00 - 45.00の設定
		02 14	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 30.00 - 45.00の設定
		02 15	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.1: 45.00 - 60.00の設定
		02 16	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.2: 45.00 - 60.00の設定
		02 17	P.15参照 スコープ設定 — FIXエッジ — No.3: 45.00 - 60.00の設定
		02 18	00/01 オーディオスコープ設定 — FFTスコープ波形表示タイプの設定 ※00=輪郭線、01=波形塗りつぶし
		02 19	P.15参照 オーディオスコープ設定 — FFTスコープ波形表示色の設定
		02 20	00/01 オーディオスコープ設定 — FFTスコープウォーターフォール表示の設定 ※00=OFF、01=ON
02 21	P.15参照 オーディオスコープ設定 — オシロスコープ波形表示色の設定		
02 22	00~04 KEYER001 — 数字表現の設定 ※00=ノーマル、01=190→ANO、 02=190→ANT、03=90→NO、 04=90→NT		
02 23	01~08 KEYER001 — カウントアップトリガーの設定 ※01=M1~08=M8		

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	02 24	00 01 ~ 99 99 KEYER001 — コンテストナンバーの設定 ※00 01=1~99 99=9999
		02 25	00 00 ~ 02 55 CW-KEY設定 — サイドトーンレベルの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		02 26	00/01 CW-KEY設定 — サイドトーンレベルリミットの設定 ※00=OFF~01=ON
		02 27	01~60 CW-KEY設定 — キーヤーリピート時間の設定 ※01=1秒~60=60秒
		02 28	28~45 CW-KEY設定 — ドット/ダッシュ比率の設定 ※28=1:1.2.8~ 45=1:1.4.5(0.1刻み)
		02 29	00~03 CW-KEY設定 — ライスタイムの設定 ※00=2ms、01=4ms、02=6ms、 03=8ms
		02 30	00/01 CW-KEY設定 — バトル極性の設定 ※00=ノーマル、01=リバース
		02 31	00~02 CW-KEY設定 — キータイプの設定 ※00=ストレートキー、01=バグキー、 02=バトル
		02 32	00/01 CW-KEY設定 — MIC Up/Down Keyerの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 33	00~03 RTTYデコード設定 — FFTスコープ アペレーシングの設定 ※00=OFF、01=2、02=3、03=4
		02 34	P.15参照 RTTYデコード設定 — FFTスコープ波形色の設定
		02 35	00/01 RTTYデコード設定 — デコードUSOSの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 36	00/01 RTTYデコード設定 — デコード 改行コードの設定 ※00=CR.LF.CR+LF、01=CR+LF
		02 37	00~02 RTTYデコード設定 — ディドルの設定 ※00=OFF、01=BLANK、02=LTRS
		02 38	00/01 RTTYデコード設定 — TX USOSの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 39	00/01 RTTYデコード設定 — 送信時自動改行の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 40	00/01 RTTYデコード設定 — タイムスタンプの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 41	00/01 RTTYデコード設定 — タイムスタンプ(時刻)の設定 ※00=ローカル、01=UTC* ★CLOCK2ネームの設定(初期設定: UTC)がタイムスタンプに表示される。
		02 42	00/01 RTTYデコード設定 — タイムスタンプ(周波数)の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 43	P.15参照 RTTYデコード設定 — フォント色(受信)の設定
		02 44	P.15参照 RTTYデコード設定 — フォント色(送信)の設定
		02 45	P.15参照 RTTYデコード設定 — フォント色(タイムスタンプ)の設定
		02 46	P.15参照 RTTYデコード設定 — フォント色(送信バッファ)の設定
		02 47	00/01 RTTYデコードログ — デコードログの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 48	00/01 RTTYデコードログ — ログ設定 — 保存形式の設定 ※00=テキスト、01=HTML

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	02 49 00~03	PSKデコード設定 — FFTスコープ アペレージングの設定 ※00=OFF、01=2、02=3、03=4
		02 50 P.15参照	PSKデコード設定 — FFTスコープ波形色の設定
		02 51 00/01	PSKデコード設定 — AFC範囲の設定 ※00=±8Hz、01=±15Hz
		02 52 00/01	PSKデコード設定 — タイムスタンプの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 53 00/01	PSKデコード設定 — タイムスタンプ(時刻)の設定 ※00=ローカル、01=UTC* ★CLOCK2ネームの設定(初期設定: UTC)がタイムスタンプに表示される。
		02 54 00/01	PSKデコード設定 — タイムスタンプ(周波数)の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 55 P.15参照	PSKデコード設定 — フォント色(受信)の設定
		02 56 P.15参照	PSKデコード設定 — フォント色(送信)の設定
		02 57 P.15参照	PSKデコード設定 — フォント色(タイムスタンプ)の設定
		02 58 P.15参照	PSKデコード設定 — フォント色(送信バッファ)の設定
		02 59 00/01	PSKデコードログ — デコードログの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 60 00/01	PSKデコードログ — ログ設定 — 保存形式の設定 ※00=テキスト、01=HTML
		02 61 00/01	スキャン設定 — スキャンスピードの設定 ※00=遅い、01=速い
		02 62 00/01	スキャン設定 — スキャンレジュームの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 63 00 00~02 55	VOICE TX — TX LEVELの設定 ※00 00=0%~02 55=100%
		02 64 00/01	VOICE送信設定 — オートモニターの設定 ※00=OFF、01=ON
		02 65 01~15	VOICE送信設定 — リピート時間の設定 ※01=1秒~15=15秒
		02 66 00/01	録音設定 — 録音モードの設定 ※00=送受信、01=受信のみ
		02 67 00/01	録音設定 — 送信録音音声の設定 ※00=ダイレクト、01=モニター音
		02 68 00/01	録音設定 — 受信録音条件の設定 ※00=常時、01=スケルチ連動
		02 69 00/01	録音設定 — ファイル分割の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 70 00/01	録音設定 — PTT自動録音の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 71 00~03	録音設定 — 送信前録音(PTT自動録音)の設定 ※00=OFF、01=5秒、02=10秒、03=15秒
		02 72 00~03	再生設定 — スキップ時間の設定 ※00=3秒、01=5秒、02=10秒、03=30秒
		02 73 05~30	音声メモ([REC]/[PLAY])設定 — 録音時間の設定 ※05=5秒~30=30秒
		02 74 03~10	音声メモ([REC]/[PLAY])設定 — 再生時間の設定 ※03=3秒~10=10秒
		02 75 00/01	タイプ設定 — RX-ANT端子の設定 ※00=受信アンテナを接続、01=外部機器を接続
		02 76 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (0.03MHz~1.60MHz)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	05	02 77 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (1.60MHz~2.00MHz)
		02 78 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (2.00MHz~6.00MHz)
		02 79 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (6.00MHz~8.00MHz)
		02 80 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (8.00MHz~11.00MHz)
		02 81 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (11.00MHz~15.00MHz)
		02 82 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (15.00MHz~20.00MHz)
		02 83 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (20.00MHz~22.00MHz)
		02 84 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (22.00MHz~26.00MHz)
		02 85 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (26.00MHz~30.00MHz)
		02 86 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (30.00MHz~45.00MHz)
		02 87 P.15参照	ANTENNA MEMORYの設定 (45.00MHz~60.00MHz)
		02 88 00/01	アンテナのテンポラリーメモリー(TEMP-M)機能の設定 ※00=OFF、01=ON
		02 89 00~02	[ANT] SWの設定 ※00=OFF、01=Manual、02=Auto
		02 90 00~09	NB DEPTHの設定 ※00=1~09=10
		02 91 00 00~02 55	NB WIDTHの設定 ※00 00=1~02 55=100
		02 92 00~20	VOX DELAYの設定 ※00=0.0S~20=2.0S(0.1s刻み)
		02 93 00~03	VOICE DELAYの設定 ※00=OFF、01=SHORT、02=MID、03=LONG
		02 94 00/01	APF — TYPEの設定 ※00=SHARP、01=SOFT
		02 95 00~06	APF — AF LEVELの設定 ※00=0dB~06=6dB
		02 96 P.14参照	トーンコントロール/送信帯域幅 — 送信 — SSB-DATA送信帯域幅の設定
		02 97 00/01	外部端子 — USB SEND/キーイング — USB接続時入力禁止時間 ※00=OFF、01=ON
		02 98 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:0.03 - 1.60の設定
		02 99 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:1.60 - 2.00の設定
		03 00 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:2.00 - 6.00の設定
		03 01 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:6.00 - 8.00の設定
		03 02 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:8.00 - 11.00の設定
		03 03 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:11.00 - 15.00の設定
		03 04 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:15.00 - 20.00の設定
03 05 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:20.00 - 22.00の設定		
03 06 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:22.00 - 26.00の設定		
03 07 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:26.00 - 30.00の設定		
03 08 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:30.00 - 45.00の設定		
03 09 P.15参照	スコープ設定 — FIXエッジ — No.4:45.00 - 60.00の設定		
03 10 00/01	IC-PW2 デュアル接続モードの設定 ※00=OFF、01=ON		

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

コマンド	サブ	データ	動作
1A* (注5)	06	P.14参照	データ(D1、D2、D3)モードの設定
	07	00/01	ネットワーク時刻補正 ※00=停止、01=開始
	08	00~02	日時情報更新結果を読み込む ※00=更新中、または電源ON後未更新 01=更新成功、02=更新失敗
	09 ㊟	00/01	ミュート(消音)機能の設定 ※00=OFF、01=ON
	0A ㊟	00/01	OVF Indicatorの読み込み ※00=消灯、01=点灯
1B* ㊟	00	P.16参照	TONE(レピータ用トーン)周波数の設定
	01	P.16参照	TSQL(トーンスケルチ用トーン)周波数の設定
1C	00*	00/01	送受信の切り替え設定 ※00=受信、01=送信 ※CI-V出力(アンテナ用)の設定 (コマンド:1C 04)がONのときは、変化時に自動で出力
	01*	00~02	アンテナチューナーの設定 ※00=OFF、01=ON、 02=強制チューン
	02*	00/01	XFC(送信周波数チェック)の設定 ※00=OFF、01=ON
1C	03	P.12参照	送信周波数を読み込む ※CI-V出力(アンテナ用)の設定 (コマンド:1C 04)がONのときは、変化時に自動で出力
	04*	00/01	CI-V出力(アンテナ用)の設定 ※00=OFF、01=ON
1E	00		無線機本体の送信帯域数を読み込む
	01	P.13参照	無線機本体の送信帯域を読み込む
	02		ユーザー送信帯域数を読み込む
	03*	P.13参照	ユーザー送信帯域の設定
21*	00	P.16参照	RIT(リット)周波数の設定
	01	00/01	RIT(リット)機能の設定 ※00=OFF、01=ON
	02	00/01	ΔTX機能の設定 ※00=OFF、01=ON
25*		P.16参照	MAINバンド、またはSUBバンド周波数の設定
26*		P.16参照	MAIN、またはSUBバンドに設定する運用モードとフィルターの設定
27*	00	P.16参照	スペクトラムスコープの出力波形データ ※スペクトラムスコープ動作の設定 (コマンド:27 10)と、スペクトラムスコープの波形データ出力の設定 (コマンド:27 11)がONのときに転送します。
	10	00/01	スペクトラムスコープ動作の設定 ※00=OFF、01=ON
	11(注7)	00/01	スペクトラムスコープの波形データ出力の設定 ※00=OFF、01=ON
	12	00/01	MAINバンド、またはSUBバンドのスペクトラムスコープ表示に切り替え ※00=MAINバンド、01=SUBバンド
	13	00/01	デュアルスコープとシングルスコープの切り替え ※00=シングル、01=デュアル
	14	P.17参照	スペクトラムスコープのモード設定
	15	P.17参照	スペクトラムスコープのSPAN設定 ※センターモード、SCROLL-Cモード時
	16	P.17参照	スコープ設定 — FIXエッジの設定 ※FIX(固定)モード、SCROLL-Fモード時
	17	P.17参照	スペクトラムスコープのホールド機能の設定
	19	P.17参照	スペクトラムスコープのリファレンスレベルの設定
	1A	P.17参照	スペクトラムスコープのスイープスピードの設定

コマンド	サブ	データ	動作
27*	1B	00/01	スコープ設定 — 送信中スコープ表示(センターモード)の設定 ※00=表示しない、01=表示する
	1C	00~02	スコープ設定 — センターモード表示の設定 ※00=フィルターセンター、 01=キャリアポイントセンター、 02=キャリアポイントセンター (周波数表示)
	1D	P.17参照	スペクトラムスコープのビデオ帯域幅(VBW)の設定
	1E	P.18参照	スペクトラムスコープのFIX(固定)エッジ周波数の設定
	1F	P.17参照	スペクトラムスコープの分解能帯域幅(RBW)の設定
28	00	00~08	マーカー位置の設定 ※FIX(固定)モード、スクロール(SCROLL-C、SCROLL-F)モード時 ※00=フィルターセンター、 01=キャリアポイント
			送信用ボイスメモリー(T1~T8)の送出 ※0x00=送出停止、 01=T1~08=T8を送出
29		00/01 + 対象コマンド	選択状態に関わらず、MAIN、またはSUBバンドを直接指定して、対象コマンドを読み込み/書き込みする(P.17参照) ※00=MAINバンド、01=SUBバンド

※「*」マークの項目は、読み込み/書き込みができます。

「㊟」マークの項目は、コマンド29の対象コマンドです。

コマンド一覧内(注1~注7)の説明は、次ページをご覧ください。

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

注1: 無線機本体でアンテナタイプ(TYPE)が「RX-I/O」に設定されている場合の読み込みは、常に00(RX ANT OFF)で応答、01(RX ANT ON)での書き込みはエラーになります。

注2: 無線機本体でアンテナタイプ(TYPE)が「RX-ANT」に設定されている場合の読み込みは常に00(OFF)で応答、01(ON)での書き込みはエラーになります。

注3: 無線機がCWモードで送信状態、またはブ레이크イン機能がONのときに、パソコンから送出すると、CWコードとして無線機から送信されます。

注4: 電源ONコマンド(18 01)は、本製品が電源OFF(スタンバイ/シャットダウン)のときに動作します。

シャットダウン時に電源ONコマンド(18 01)を送る場合、基本フォーマットの前に「FE」を連続して送る必要があります。

下記は、基本フォーマットの前に必要な「FE」の個数の目安です。

- 115200bps : 150個
- 57600bps : 75個
- 38400bps : 50個
- 19200bps : 25個
- 9600bps : 13個
- 4800bps : 7個

例：4800bpsで通信している場合

	①プリアンブル		②受信アドレス		③送信アドレス	④コマンド		⑤サブコマンド		⑦ポストアンブル					
F	E	F	E	F	E	9	8	E	0	1	8	0	1	F	D

x7

注5: 1A 05 01 15、1A 05 01 28、1A 08は、書き込みできません。

注6: カウンターを挿入するときは、ほかのチャンネルのカウンターをクリアしてから挿入してください。

注7: [LAN]ポート、または後面の[USB 1]ポート*に接続するときだけ設定できます。

★下記で、「CI-V USBポート」が「[REMOTE]」から切断、「CI-V USBボーレート」が「115200」に設定されている必要があります。

MENU >> **SET > 外部端子 > CI-V**

※ [REMOTE]ジャックに接続、または「CI-V USBポート」が「[REMOTE]」と接続で後面の[USB 1]ポートに接続するときは設定できません。

運用周波数データ

コマンド：00、03、05、1C 03

	①		②		③		④		⑤	
X	X	X	X	X	X	X	X	X	0	0
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
9	9	9	9	9	9	6	9	9	0(固定)	0(固定)
~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
:0	:0	:0	:0	:0	:0	:0	:0	:0	:0	:0
10Hz桁	1Hz桁	1kHz桁	100Hz桁	100kHz桁	10kHz桁	10MHz桁	1MHz桁	1GHz桁	1GHz桁	100MHz桁

運用モードデータ

コマンド：01、04、06

①		②	
X	X	X	X

①運用モード		②フィルター	
00:LSB	05:FM	01:FIL1	
01:USB	07:CW-R	02:FIL2	
02:AM	08:RTTY-R	03:FIL3	
03:CW	12:PSK	—	
04:RTTY	13:PSK-R	—	

※コマンド01、06では、フィルターデータは省略できます。省略した場合、コマンド01ではFIL1、コマンド06では指定運用モードのデフォルトフィルター設定が選択されます。

CWメッセージの送出データ

コマンド：17 (全30文字)

CWメッセージの送出文字コード

キャラクター	ASCIIコード	説明
0~9	30~39	数字
A~Z	41~5A	英字
a~z	61~7A	英字
/	2F	記号
?	3F	記号
.	2E	記号
-	2D	記号
,	2C	記号
:	3A	記号
'	27	記号
(28	記号
)	29	記号
=	3D	記号
+	2B	記号
"	22	記号
@	40	記号
(スペース)	20	語間

※FF：CI-Vでの送出を停止します。

※「^」記号のあとは、文字間を詰めて送出します。

【例】AR→^AR SOS→^SOS

リモート機能

■ CI-Vについて

◇コマンド一覧(つづき)

各種入力文字一覧データ

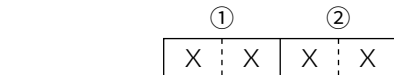
コマンド：1A 00、1A 05 01 33、01 40、01 55、01 61、01 65

キャラクター	ASCIIコード	説明	キャラクター	ASCIIコード	説明
0~9	30~39	数字	'	27	記号
A~Z	41~5A	英字	`	60	記号
a~z	61~7A	英字	^	5E	記号
ア~ン	B1~DD	カタカナ	+	2B	記号
ヲ	A6	カタカナ	-	2D	記号
ア~ツ	A7~AF	カタカナ	*	2A	記号
スペース	20	スペース	/	2F	記号
、	DE	記号	.	2E	記号
。	DF	記号	,	2C	記号
—	B0	記号	:	3A	記号
、	A4	記号	;	3B	記号
。	A1	記号	=	3D	記号
・	A5	記号	<	3C	記号
「	A2	記号	>	3E	記号
」	A3	記号	(28	記号
!	21	記号)	29	記号
#	23	記号	[5B	記号
\$	24	記号]	5D	記号
%	25	記号	{	7B	記号
&	26	記号	}	7D	記号
¥	5C	記号		7C	記号
?	3F	記号	=	5F	記号
"	22	記号	-	7E	記号
			@	40	記号

コマンド	サブ	設定項目と対応文字
1A	00	メモリーチャンネルのネーム部分すべてに対応
	05 01 33	ネットワークネームの設定 英字(大文字)、数字、記号(-_)
	01 40	ネットワーク無線機ネームの設定 英字(大文字/小文字)、数字、カタカナ 記号(!#\$%&?'^+*!/:;=<>()[] { _@)、スペースのみ
	01 55	コールサインの設定 英字(大文字)、数字、記号(-./@)、 スペースのみ
	01 61	NTPサーバーアドレスの設定 英字(大文字/小文字)、数字、記号(-)
	01 65	CLOCK2ネームの設定 英字(大文字/小文字)、数字、 記号(!#\$%&¥?'^+*!/:;=<>()[] { _@)、スペースのみ

データ(D1、D2、D3)モードの設定

コマンド：1A 06



00:データモード OFF* 01:FIL1
01:D1モード 02:FIL2
02:D2モード 03:FIL3
03:D3モード
★ 00設定時は、②にも00を設定してください。

デジタルIFフィルター(FIL1/FIL2/FIL3)の通過帯域幅

コマンド：1A 03

運用モード	データ	帯域幅(ステップ幅)
SSB/CW/RTTY/PSK	0~9	50Hz~500Hz(50Hz)
SSB/CW/PSK	10~40	600Hz~3.6kHz(100Hz)
RTTY	10~31	600Hz~2.7kHz(100Hz)
AM	0~49	200Hz~10.0kHz(200Hz)

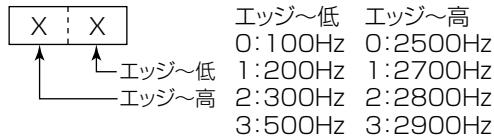
AGCの時定数(FAST/MID/SLOW)

コマンド：1A 04

データ	AGC時定数(秒)		データ	AGC時定数(秒)	
	SSB/CW/RTTY/PSK	AM		SSB/CW/RTTY/PSK	AM
0	OFF	OFF	7	1.6	2.5
1	0.1	0.3	8	2.0	3.0
2	0.2	0.5	9	2.5	4.0
3	0.3	0.8	10	3.0	5.0
4	0.5	1.2	11	4.0	6.0
5	0.8	1.6	12	5.0	7.0
6	1.2	2.0	13	6.0	8.0

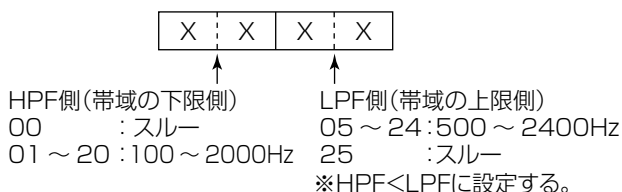
SSB/SSB-DATA 送信帯域幅の設定

コマンド：1A 05 00 15、00 16、00 17、02 96



運用モード別受信HPF/LPFの設定

コマンド：1A 05 00 01、00 04、00 07、00 10、00 11、00 12



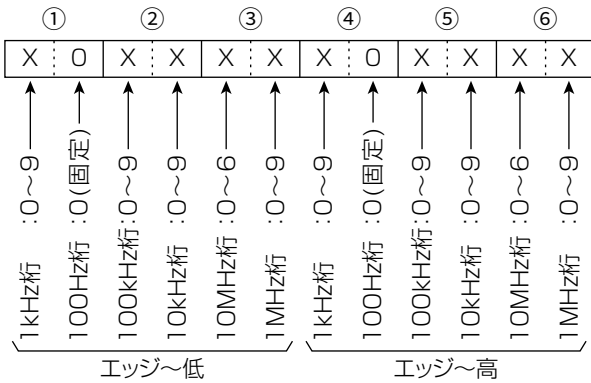
リモート機能

■ CI-Vについて

◇ コマンド一覧(つづき)

スコープ設定 — FIXエッジ周波数の設定

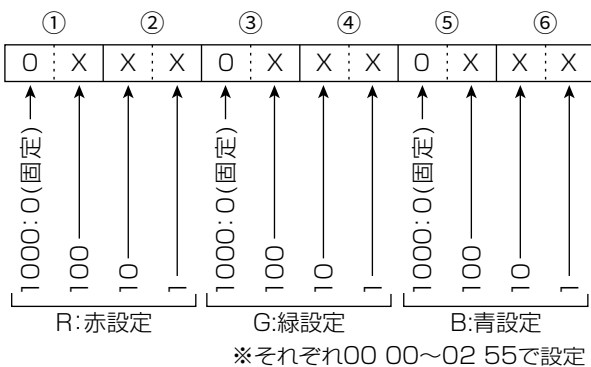
コマンド：1A 05 01 82～1A 05 02 17
1A 05 02 98～1A 05 03 09



FFTスコープ/オシロスコープ波形表示色の設定、

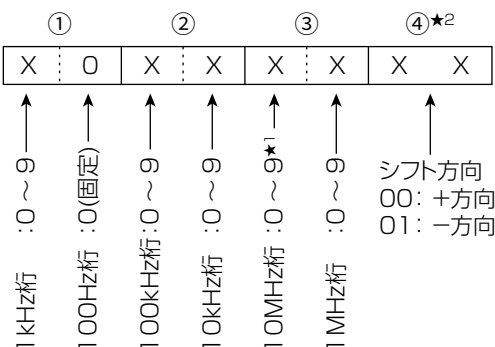
PSK/RTTYフォント色(受信/送信)の設定

コマンド：1A 05 01 72、01 73、01 74、02 19、
02 21、02 34、02 43、02 44、
02 45、02 46、02 50、02 55、
02 56、02 57、02 58



スプリット/トランスバーターオフセット周波数の設定

コマンド：1A 05 00 35、00 36、00 40



★1 上記のデータにしたがって、スプリットオフセット周波数(10MHz桁は0で固定)、トランスバーターオフセット周波数(10MHz桁は0～9で設定)で読み込んでください。

★2 トランスバーターオフセット周波数の設定では、シフト方向の指定コマンドは不要です。

KEYERメモリー(M1～M8)の入力文字コード表

コマンド：1A 02

キャラクター	ASCIIコード	説明
0～9	30～39	数字
A～Z	41～5A	英字
a～z	61～7A	英字
(スペース)	20	語間 ※文末以降は、データなしと同じ
/	2F	記号
?	3F	記号
,	2C	記号
.	2E	記号
@	40	記号
^	5E	符号間なし開始 ※語間、または文末まで
*	2A	コンテストナンバー挿入 ※いずれかの1チャンネルに設定する

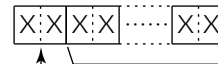
※コンテストナンバーを挿入する場合、別チャンネルにコンテストナンバーが設定されているときは、NG(FA)を返す。

※文末以降のスペースは省略できます。

※メモリーをクリアする場合、スペース1個は必要です。

KEYERメモリー(M1～M8)のメッセージデータ

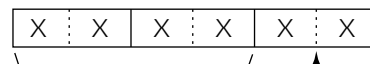
コマンド：1A 02



- ②～⑩: テキストデータ
- ①: チャンネルデータ
- 01: M1 05: M5
- 02: M2 06: M6
- 03: M3 07: M7
- 04: M4 08: M8

UTCオフセットの設定

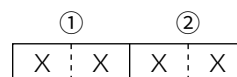
コマンド：1A 05 01 62、1A 05 01 64



- ↑ オフセット方向
00= +(プラス)
01= -(マイナス)
- ↑ オフセット幅
00 00～14 00

ANTENNA MEMORYの設定

コマンド：1A 05 02 76～1A 05 02 87



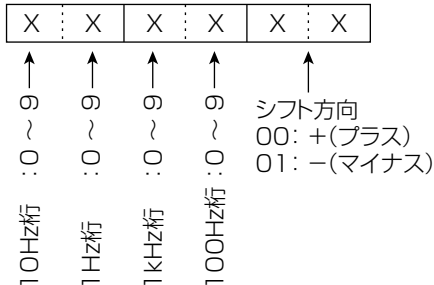
①ANT 1/ANT 2	②受信アンテナ、またはRX-I/O
00: ANT 1	00: RX-ANT、またはRX-I/O OFF
01: ANT 2	01: RX-ANTまたはRX-I/O ON ※どちらがONになるかは、アンテナタイプの設定によります。

リモート機能

■ CI-Vについて

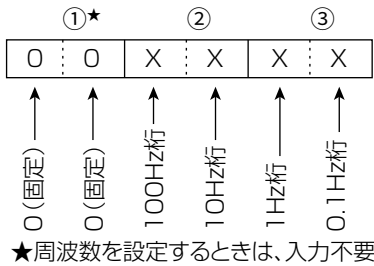
◇コマンド一覧(つづき)

RIT周波数の設定 コマンド：21 00



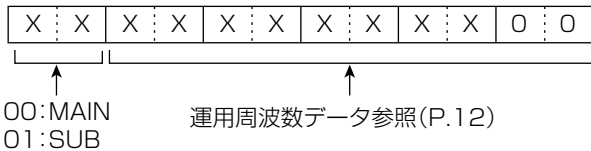
レピータ(TONE)/トーンスケルチ(TSQL)用トーン周波数の設定

コマンド：1B 00、1B 01



MAINバンド、またはSUBバンド周波数の設定

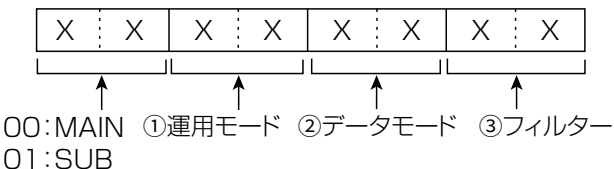
コマンド：25



MAIN、またはSUBバンドに設定する運用モードとフィルターの設定

コマンド：26

データモードの設定、およびフィルターの設定が省略できます。
※省略した場合、データモードOFFと指定運用モードのデフォルトフィルター設定が選択されます。

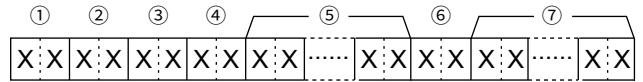


①運用モード		②データモード	③フィルター
00: LSB	05: FM	00: データモードOFF	01: FIL1
01: USB	07: CW-R	01: D1モード	02: FIL2
02: AM	08: RTTY-R	02: D2モード	03: FIL3
03: CW	12: PSK	03: D3モード	—
04: RTTY	13: PSK-R	—	—

スペクトラムスコープの出力波形データ

コマンド：27 00

スペクトラムスコープの波形データを無線機から出力します。



①MAIN/SUBデータ：00=MAIN、01=SUB

②分割番号(NOW)：01～15

③分割番号(MAX)：01=LAN、15=USB

◎[USB 1]ポートから出力する場合は、データを15分割して出力します。

◎[LAN]ポートから出力する場合は、データが一括で出力されます。

※分割番号(NOW)とは、分割したうちの何番目かを指します。

分割番号(MAX)とは、分割総数を指します。

例) 15分割中の5分割目を送信する場合、分割番号(NOW)は5、分割番号(MAX)は15となります。

◎[USB 1]ポートから出力する場合は、分割番号(NOW)が1番目のデータには、波形データ(⑦)を乗せません。

2番目以降のデータは、MAIN/SUBデータ(①)、分割番号(NOW)(②)、分割番号(MAX)(③)、波形データ(⑦)を乗せます。

④表示モード：00=CENTER(センター)モード、
01=FIX(固定)モード、
02=スクロール(SCROLL-C)モード、
03=スクロール(SCROLL-F)モード

⑤波形情報

表示モードによって波形情報が異なります。

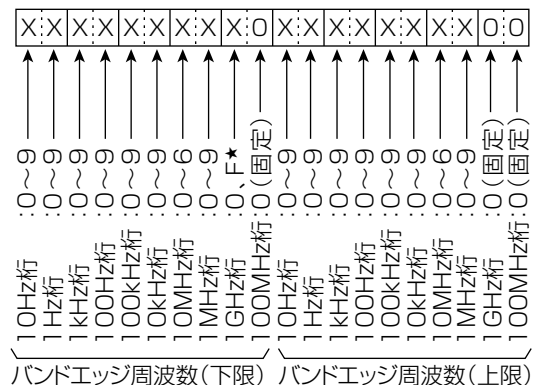
◎センターモードの場合

：センター周波数+スパン

※運用周波数データ(P.12)

※スペクトラムスコープのSPANの設定(センターモード、スクロール(SCROLL-C)モード時)(②～⑥) (右上参照)

◎FIX(固定)モード、スクロール(SCROLL-C、SCROLL-F)モードの場合：下限周波数+上限周波数



★スクロール(SCROLL-C、SCROLL-F)モードで、下限周波数がマイナスの値のときは、1GHz桁部分が「F」になる

リモート機能

■ CI-Vについて

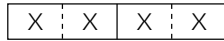
◇コマンド一覧(つづき)

⑥ Out of Range : 00=レンジ範囲内、01=レンジ範囲外
 ※Out of Rangeの場合は、波形がないため、波形データ(⑦)は乗せません。

⑦ 波形データ : 0~200=データ範囲、689=データ長

スペクトラムスコープのモード設定

コマンド : 27 14

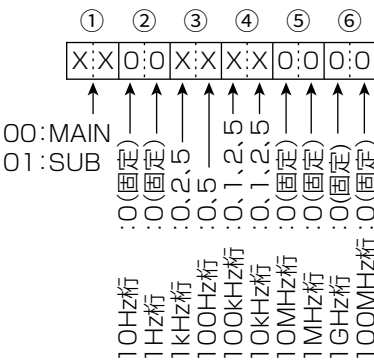


00: MAIN 00: センターモード
 01: SUB 01: FIX(固定)モード
 02: SCROLL-Cモード
 03: SCROLL-Fモード

スペクトラムスコープのSPANの設定

(センターモード、スクロール(SCROLL-C)モード時)

コマンド : 27 15

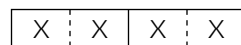


SPAN (kHz)	
2500	2.5
5000	5
10000	10
25000	25
50000	50
100000	100
250000	250
500000	500

スコープ設定 — FIXエッジの設定

(FIX(固定)モード、スクロール(SCROLL-F)モード時)

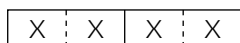
コマンド : 27 16



00: MAIN 01: FIXエッジ No.1
 01: SUB 02: FIXエッジ No.2
 03: FIXエッジ No.3
 04: FIXエッジ No.4

スペクトラムスコープのホールド機能の設定

コマンド : 27 17

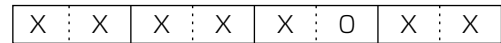


00: MAIN ホールド機能
 01: SUB 01: OFF
 02: ON

スペクトラムスコープのリファレンスレベルの設定

コマンド : 27 19

※設定範囲: -30.0~+10.0dB(0.5dB刻み)

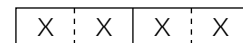


00: MAIN 00: +
 01: SUB 01: -

10dB桁 : 0
 1dB桁 : 0
 0.1dB桁 : 0.5
 0.01dB桁 : 0(固定)

スペクトラムスコープのスイープスピードの設定

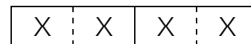
コマンド : 27 1A



00: MAIN 00: FAST
 01: SUB 01: MID
 02: SLOW

スペクトラムスコープのビデオ帯域幅(VBW)の設定

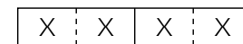
コマンド : 27 1D



00: MAIN 00: NAR
 01: SUB 01: WIDE

スペクトラムスコープの分解能帯域幅(RBW)の設定

コマンド : 27 1F



00: MAIN 00: WIDE
 01: SUB 01: MID
 02: NAR

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

